釈迦ヶ岳山行報告

【山域】那須連峰

【ルート】釈迦ヶ岳

【登山方法】ハイキング

【日程と天気】2019年5月2日(木) 晴れ

【メンバー】CL室(昌)、SL鈴木(憲)、鈴木(愛)、清野(記録)

【行程】

大間々台駐車場8:25→見晴コース→八海山神社9:20→釈迦ヶ岳山頂11:30

→剣ヶ峰 13:20→八海山神社 13:45→林間コース→大間々台駐車場 14:30



【内容】

車で東北道を走り、矢板 I.C.で降りた。八方ヶ原に入ると、道路沿いに咲き残ったサク

ラ、今がピークのアカヤシオやトウゴクミツバツツジが明るい桃色で出迎えてくれた。大間々台駐車場は連休というのにすいていた。



駐車場からは見晴コースを進んだ。まだ芽吹いていない落葉樹林の中の整備されたなだらかな道を歩いて行くと、ミツモチとの分岐になった。そこから登山道へ入って行った。ゆっくりと樹林の中を歩きながら高度を稼いでいくと、視界が開けた。左側眼下に平野や高い山々の連なりが見えてきた。やがて風も強くなってきた。風に耐えながら石のゴロゴロした急坂を登っていくと、展望の良い頂きの八海山神社に着いた。開けて石が積み重なっているその頂きには潰れて屋根のみになっている祠があった。西の方にこれから向かう釈迦ヶ岳、その後ろに鶏頂山を見ることができた。風が強く寒かったので、雨具の上着を着た。

なだらかな道を 10 分程進んで行くと『矢板市最高点 1590m』と板に書かれた地点となった。それから先、剣ヶ峰を巻きアップダウンはあるものの、歩きやすい道をしばらく進

んでいった。やがて残雪があらわれるようになると、道も険しくなってきた。雪解けで泥がぐちょぐちょになっている個所や、残雪、急登、が続いた。特に鶏頂山分岐を過ぎたころからは、さらに残雪は多くなり、斜度が増し、備え付けてあるロープに頼ることが多くなった。



やがて前方の視界が開け、釈迦ヶ岳山頂に着いた。山頂からは全体的に霞がかかっているような感じだったが、広大な関東平野、日光連山、日光白根山、茶臼岳などが望めた。風 も吹いていたが、それ程強くなかったので、お釈迦様のそばで、昼食にすることにした。



下山は来たルートを八海山神社まで戻った。そこから見晴コースとの分岐となるが、今度は林間コースをとった。見晴らしのない樹林の中を駐車場まで下って行ったが、気持ちの良い道だった。途中、カタクリが咲いていた。



帰りに車で移動し、『おしらじの滝』に寄った。あいにく滝は涸れていた。しかし滝まで の道すがら、カタクリやキクザキイチゲの花に出会えて嬉しかった。

日帰り温泉、『まことの湯』に立ち寄った。源泉かけ流しの大きな露天風呂に入ってゆっ くり疲れをとって帰葉した。

以上